

## クレジット納付について

2017年4月から法人税、消費税、所得税、相続税、贈与税など30税目の国税でクレジットカード納税がスタートしました。予定納税や修正分も対応可能となっております。

また、平成29年6月12日(月)以降にe-Taxで徴収高計算書データを送信した後、メッセージボックスに格納される受信通知から「国税クレジットカードお支払サイト」へアクセスする方法により、源泉所得税についてもクレジットカード納付手続が行えます。

これまでは、住民税、固定資産税、自動車税などの地方税ではクレジットカード納付が可能な例がありましたが、国税でもクレジットカード納付ができるようになりました。

### ■メリット・デメリット及び利用方法等

#### メリット

- ・ クレジットカードのポイントがつかます。  
後述の、「クレジットカードでの納付はお得か？」をご参照ください。
- ・ 夜間や休日でも利用ができます。  
納付先まで行く手間が省けます。  
なお、24時間いつでも利用可能ですが、メンテナンス作業等で利用できない時間が生じる場合があります。
- ・ 分割払いができます。  
利用するクレジットカードによりますが、支払回数が選べる＝分割払い可能となります。
- ・ キャッシュアウトを遅らせることができます。  
国税クレジットカードお支払いサイトで納付手続をした日が手続完了日となりますが、実際の引き落としは1～2か月程度後になるためです。  
なお、万が一クレジットの引き落としができなかった場合は税金の延滞ではなくクレジットカードの延滞となります。

#### デメリット

- ・ 決済手数料がかかります。  
後述の、「クレジットカードでの納付はお得か？」をご参照ください。
- ・ 領収証書の発行がなされません。  
納税証明の発行に数週間かかるようですので、手続完了メールの保存や納付完了ページの印刷保存をおすすめします。  
どうしても領収書が欲しい又は不安がある場合は、現金での納付をおすすめします。

## 利用方法等

国税クレジットカードお支払いサイトを通じてのインターネットを利用した納付手続きとなります。

- ①利用規約の確認
- ②クレジットカード納付を行う税金の情報を入力
- ③利用するクレジットカードの情報を入力
- ④入力内容の確認
- ⑤納付手続きの確定
- ⑥手順の完了
- ⑦クレジットカードの決済

- ・ 利用できるクレジットカードは、以下のいずれかのマークがついているものとなります。  
Visa、Mastercard、JCB、American Express、Diners Club、TS CUBIC CARD
- ・ 納税額は、1回あたり1円から990万円までの範囲が取扱可能となります。  
導入趣旨が主に個人や小規模事業者の小口納税の手間を省くことに主眼があるため金額の枠が設けられたようです。
- ・ クレジットカード納付は継続的な手続きではありません。  
公共料金や携帯電話のように一度登録したら次回以降自動引き落としになるわけではありません。その都度行う必要がございます。



### ■クレジットカードでの納付はお得か？

国税のクレジット納付には、手数料が1万円まで76円(税込82円)、以後1万円を超えるごとに76円(税込82円)加算された金額がかかります。

金額にもよりますが、手数料の割合は最低でも0.82%となります。

一般的なクレジットカード納付の還元率は0.5%となっており(通常の1%から半減して0.5%としているカード会社がほとんどです)、還元率が1%を超えるクレジットカードで国税を支払わないと手数料の方が高くなってしまいます。

なお、決済手数料は、国税クレジットカードお支払いサイトで事前に計算することができます。

詳細等お気軽にお問い合わせください。